



教育研究所だより



平成30年10月4日 発行

No.15

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向150-1

TEL 0220-22-8029(相談専用22-8125) FAX 22-9114

HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>

【平成30年度】

世の中にはいろいろな動物がありますが、一目見てそれと分かる動物の一つに「シマウマ」がいます。ところで、このシマウマの白黒の縞(しま)模様は縦縞でしょうか横縞でしょうか。(一見、縦縞に見えますが)正解は「横縞」です。脊椎動物の縞模様は、頭を上にして背骨を真上から見た状態で縦か横を判断するそうです。(この場合、背骨の線は縦)シマウマの場合は、背骨(縦)に対して垂直に模様があるので「横縞」となります。まあ、シマウマの縞が縦でも横でもいいのですが、そのように決まっているということです。

協働教育兼コミュニティ・スクール研修会



9月13日(木)宝江ふれあいセンターで協働教育兼コミュニティ・スクール研修会が行われました。この研修会は昨年度までの教育事務所との共催事業「協働教育研修会」と教育研究所単独で行っていたコミュニティ・スクール研修会を一つにした東部教育事務所との共催事業です。

研修会参加者は約100人でした。

講師は、とちぎ市民協働研究会代表理事の廣瀬隆人先生です。協働教育、コミュニティ・スクールのあるべき姿を、ユーモアを交えながらも熱く語っていたのが印象的でした。

今回は、廣瀬先生に準備いただいた資料の中から主なものを紹介したいと思います。

1 学校と地域の連携・協働が推進される社会的背景

- 生活関連サービス(小売・飲食・娯楽・医療機関等)の縮小
- 税収入による行政サービス水準の低下
- 地域公共交通の撤退・縮小
- 空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等の増加
- 地域コミュニティの機能低下
 - ・若年層の減少～地域の歴史、伝統文化の継承を困難に
 - ・住民同士の交流の機会が減少し、にぎわいや愛着が失われる



- ◇ コミュニティ・スクールの推進(文科省)
 - ・学校を核とした地域づくり、地域とともにある学校、地域学校協働活動
 - ・学校運営に参画～地域住民が教育責任の分担を
- ◇ 学校というシンボルを利用して、コミュニティとして凝集力を高め、コミュニティ形成を進める(学校を核とした地域づくり)
- ◇ 地域住民が学校支援ボランティアとして地域のよさを教え、地域に愛着を深める教育を推進

2 地域学校協働活動とは

- 学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動
- 地域の将来を担う人材の育成を図ると共に、地域住民のつながりを深めることにより、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る

<具体例>

- ・防災訓練 ・伝統行事 ・民俗行事 ・土曜日等の体験活動
- ・登下校の見守り ・環境整備 ・学習支援 ・読み聞かせ 等

○ 地域学校協働本部

- ・地域と学校双方の「連携・協働」を推進
 - ・3要素(コーディネート機能、多様な活動、継続的な活動)
- 地域学校協働活動推進委員に期待される役割
- ・実情に応じた活動の企画・立案
 - ・関係者との連絡・調整
 - ・地域ボランティアの募集・確保
 - ・事務処理、経費処理
 - ・地域住民への情報提供・助言・活動促進



3 学校と地域の連携をめぐる動向

- 社会に開かれた教育課程
 - ・学校は積極的に地域の支援を受け入れ、課題解決すべき
 - ・よりよい社会を創るという目標を社会と共有
 - ・地域の人的・物的資源を活用
 - ・社会や職業で必要な資質・能力を育むため、学校と社会との接続を意識
 - ・世の中と結びついた授業
- 学校を核とした地域づくり(地域創生)
 - ・学校は社会を反映
 - ・地域が総がかりで子どもの成長を応援
 - ・そこで生まれる絆を地域活性化の基盤とする
 - ・学校経営も校長だけが責任をもつのではなく、学校運営協議会を設置して、地域住民と責任を分担
- 「地域づくり」になるとは
 - ・保護者、地域住民自身の学びによる成長や成熟
 - ・地域の連帯感の形成
 - ・学校を媒体とした人間関係の構築
 - ・地域課題の解決と組織化の道筋
 - ・地域振興に向けた活動
- コミュニティ・スクールの本質
 - ・教育責任を保護者や地域住民にも分担
 - ・保護者や地域住民は学校運営に巻き込まれる(オーナー)
 - ・保護者や地域住民は教育的な見識や教育力を向上せざるを得なくなる
 - ・学校や地域社会の変化やニーズに敏感に反応せざるを得なくなる
- コミュニティ・スクールの意図
 - ・組織的、継続的な体制の構築
 - ・当事者意識、役割分担
 - ・目標、ビジョンを共有した協働活動



4 学校と地域の連携を進めるために

- 勤務する学校教員(同僚)に対する普及活動
- 学校支援ボランティアを受け入れる環境づくり
- 地域づくりに関心をもつ ○ 地域連携担当教員の配置

※ 紙面の関係上、今回は参加者の感想は掲載しません。

頭の体操コーナー

「私」は誰でしょう。

- 4文字の英単語です。 ○ 前から後ろからも同じつづり字です。
- 大文字で紙に書き、その紙を逆さまにしても同じつづり字です。

答え

No.14の答え・・・余るのは「公」

「公」以外のペアは、趣(走と取)・益(分と皿)・思(田と心)・襲(龍と衣)・動(重と力)となります。